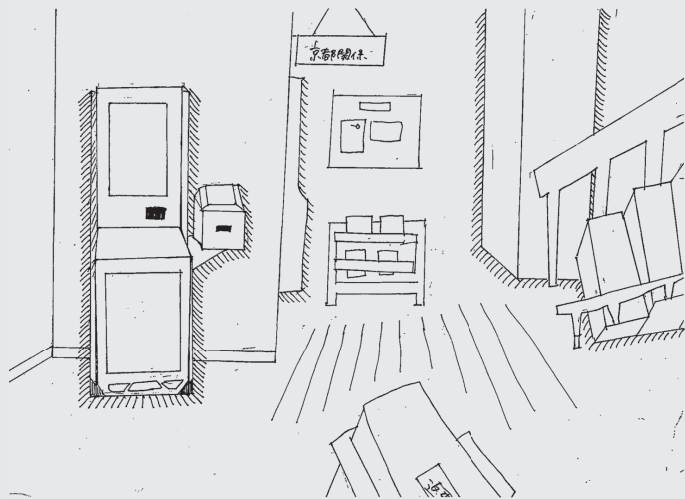


# Library Sketch



ライブラリー・スケッチ

## 「自動貸出機」

真っ白で大きなフォルム。閲覧室階段前に、図書館初の、自動貸出機の導入です。見慣れない姿に、学生の皆さんは大変驚くことでしょう。スローに感じるかも知れませんが、ゆっくりと確実に学生証をスキャンします。人間の手を経

る今までとは違い、近現代的な新しいサービスを試してみたい。そんなときは、自動貸出機を利用してはどうでしょうか。

今村 麻衣子（日本語学科4年次生）

● 関連記事は10頁にあります。

## ●「海外と触れ合う戦国期日本」

稲垣 宏行

戦国時代は日本史全体を見ても人気のある時代です。この時代を取り扱った時代小説やドラマなどの作品は枚挙にいとまがありません。

当時、日本最高の統治機関であった室町幕府や朝廷の権力が衰えており、平和や秩序とは程遠い時代でした。しかし、それ故にある意味自由な時代でもあったので、火縄銃やキリスト教など、今までの日本では見られなかった文物や文化が数多く流入したのだとも思います。高山右近や有馬晴信（鎮貴）など、キリスト教に帰依してキリシタン大名となる者も少なくありませんでした。伊東マンショ、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦ジュリアンらのように、洗礼名を受けただけでなく、キリシタン大名らの名代としてローマに派遣された者たちもいました（天正遣欧少年使節）。来年のNHK大河ドラマに登場する黒田官兵

衛（本名・黒田<sup>よしたか</sup>孝高）もキリシタン大名の一人です。因みに、彼は如水<sup>じょすい</sup>という号も持っていましたが、これが旧約聖書に出て来るジョズエという名前に由来しているという説もあります。

この時代は日本のみならず世界にとっても激動の時期でした。コロンブスの新大陸アメリカ発見やマゼランの世界一周、西欧が世界に進出した大航海時代もこの頃の出来事です。

今回のピックアップコーナーでは、戦国期日本が西欧をはじめとする国々と交流した時期に関する図書を中心に配架しています。南蛮貿易やキリシタン大名については勿論、世界の動きとも繋がってくる大航海時代に関するものも取りあげています。

いながき ひろゆき（司書・情報サービス課）